

いざという時の汚れの落とし方

※ゴム手袋を着用して実行してください

汚れの落とし方PDF



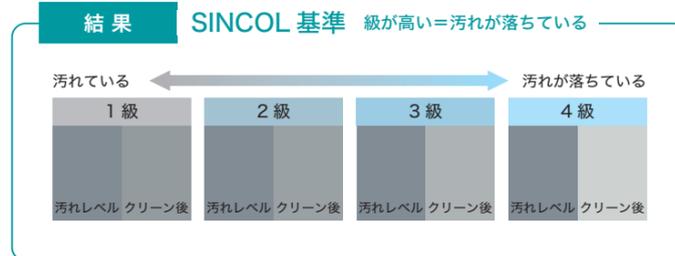
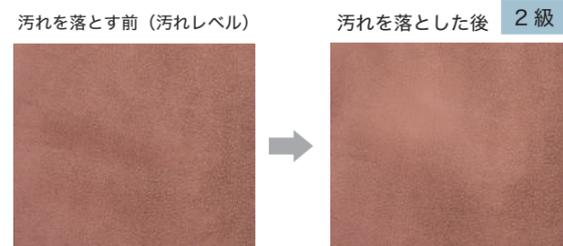
STEP 1 中性洗剤を使用 (例：界面活性剤入り食器用洗剤)

1 汚れを落としたいレザー

2 界面活性剤入り食器用中性洗剤をスポンジに含ませ水で泡立てる。
右30回、左30回を入れずに擦る。

3 洗剤を拭き取って落ち具合を見る。(数回繰り返す)

4 仕上げに布にぬるま湯で濡らし絞って洗剤を完全に拭き取る。
から拭きして完全に湿気を取る。



混ぜるな危険 しっかり乾燥させず STEP 2 の後に STEP 3、または STEP 3 の後に STEP 2 を行うと有毒ガスが発生するので注意。

STEP 3 酸性洗剤を使用 (例：クエン酸 ※濃度2%前後) ▶尿等 ※実用ではアルカリ性の汚れが少なく、STEP3の効果は限定的です。

汚れを落とす前 (汚れレベル) → → 汚れを落とした後 3級

- STEP 2 から1日乾燥後、2の食器用中性洗剤を酸性洗剤に変え、スポンジの代わりに歯ブラシで押し付け不要優しく擦る。
- STEP 1 同様 2、3作業を行う。
- 洗剤が残らないように取る為 4を行いしっかり乾燥させる。

更に汚れを落としたい場合

STEP 4 10000ppmの次亜塩素酸ナトリウム対応のレザーの場合 ▶除菌・消臭効果も期待できます

10000ppmの次亜塩素酸ナトリウムに唯一対応しているのはシンコールブランドのレザーだけ!

汚れを落とす前 (汚れレベル) → → 汚れを落とした後 4級

- 10000ppmで希釈した次亜塩素酸ナトリウムを歯ブラシで押し付け不要優しく擦る。
- STEP 1の2の作業後、5分ほど放置。
- 次亜塩素酸ナトリウムが残らないようにする為、4を行いしっかり乾燥させる。

全てのSTEPにおいて4では、ぬるま湯を絞った布で何度も拭き取りしっかり乾燥をさせてください。その後、乾いた布で水分を残さず拭き取り、完全に乾燥させてください。カビや臭い又は新たな汚れの原因となります。



更に(自己責任で)落とす方法

生地を傷めるのでお勧めしませんが、それでも綺麗にしたい場合のみ自己責任でSTEP 2~4の作業をしてください。※作業時は必ず換気をして、広いスペースで実行してください。

STEP 2 アルカリ性洗剤を使用 (例：セスキ炭酸ソーダ、重曹 ※濃度5%前後) ▶手垢、油分等

汚れを落とす前 (汚れレベル) → → 汚れを落とした後 3級

- STEP 1を施行後、2の食器用中性洗剤をアルカリ性洗剤に変え、スポンジの代わりに歯ブラシを使って押し付け不要優しくこする。
- STEP 1同様 2、3作業を行う。
- 洗剤が残らないように取る為 4を行いしっかり乾燥させる。

洗剤の選定・使用順例

汚れ種類	汚れのPH	対応洗剤種類
全て	中性	中性洗剤
油分・皮脂・手垢	酸性	重曹・アルカリ性
尿・垢	アルカリ性	クエン酸・酸性
除菌・消臭	漂白	10000ppm次亜塩素酸ナトリウム

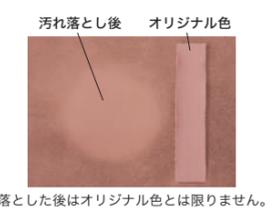
※洗剤は、汚れの種類と反対の成分を持つ洗剤を使用し汚れを浮かせらる。
※セスキ炭酸ソーダ・クエン酸・重曹は、水溶液にして汚れに噴射すると効果が高い。

歯ブラシを使う際の注意

歯ブラシで普通に擦る程度の方でも、レザーを傷つけて、菌類等が発生しやすくなるので、なでる様にお使いください

汚れかどうかご確認ください

- 生地の経年劣化の影響により多くのケースで既に変色しています。STEP 4まで行った結果、汚れ落としの際の次亜塩素酸ナトリウムでの変色ではありません。また、STEP 4の後はレザー全体が変色している様にも見えることがほとんどなので、その際は張り替えをお勧めいたします。
- 汚れではなく経時変化による色変化の場合が多々ありますので、落ちない場合があります。
- レザーは必ず乾燥させてください。各種洗剤を混ぜると有毒ガスが発生します。



落とし後はオリジナル色とは限りません。